

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	実施後のアンケートでは、次回も参加したい旨の回答も多く、事業の必要性は高いと思われます。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	比較的使用が少ない平日の昼間という時間帯での教室の実施であるため、施設の有効活用の点からも、またスポーツに触れ合う機会の創出という点からも有効性は高いと思われます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域スポーツの普及・振興という目的から、指定管理者が持つ専門的ノウハウを活用した事業でもあり妥当であると思われます。	○ 高 ● 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	指定管理者というツールを有効に活用した事業であり効率性は高いと思われます。	● 高 ○ 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

より多くの参加者を確保するために募集PRの方法をさらに工夫する必要がありますが、基本的には、今後も継続して実施する方向で、実施内容や実施時期について、十分に指定管理者と協議し、指定管理者のノウハウからの提案・計画を引き出し、より充実したものとしていきます。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			スクールの開催	スクールの開催	スクールの開催	スクールの開催	スクールの開催	スクールの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	867	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	867	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	924	924	920	920	920	920
フルコスト (A+B)		0	1,791	924	920	920	920	920

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平成22年度も継続して、指定管理者の業務として実施します。指定管理者と十分連携し、またノウハウを持つ指定管理者から有効、効率的で魅力ある実施内容を引き出し、より充実したものにします。	
平成22年度の取組方針	
平成22年度も継続して実施する方向で、指定管理者と十分検討を行い、より魅力ある事業実施を模索します。	
課長コメント	今後も指定管理者のノウハウを生かすと共に身近なスポーツとして多くの人々の集えるような魅力あるスクールの開催を実施できるように進めていきます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		平成18年度に引き続き、馬入サッカー場指定管理者である湘南ベルマーレスポーツクラブにより、指定管理者の業務の一つである地域スポーツ普及・振興に関する業務として、親子サッカー教室、レディースサッカー教室及びソフトボール教室を実施した。その結果、スポーツ・レクリエーションの活動充実や地域の交流を深め、世代を超えたふれあいの輪が広がった。	平成18年度から継続して馬入サッカー場指定管理者である湘南ベルマーレスポーツクラブにより、指定管理者の業務の一つである地域スポーツ普及・振興に関する業務として、親子サッカー教室及びレディースサッカー教室を実施しました。平成20年度は親子サッカー教室の対象年齢を少し下げた未就園児のコースも実施しました。子どもたちの運動能力向上やスポーツへの興味を持ってもらうための重要な時間を提供できました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		より多くの参加者を確保するために募集PRの方法をさらに工夫する必要はあるが、基本的には、今後も継続して実施する方向で、実施内容や実施時期について、十分に指定管理者と協議し、指定管理者のノウハウからの提案・計画を引き出し、より充実したものとしていきたい。	より多くの参加者を確保するために募集PRの方法をさらに工夫する必要がありますが、基本的には、今後も継続して実施する方向で、実施内容や実施時期について、十分に指定管理者と協議し、指定管理者のノウハウからの提案・計画を引き出し、より充実したものとしていきます。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		平成21年度も継続して実施する方向で、指定管理者と十分検討を行い、より魅力ある事業実施を模索する。	平成22年度も継続して実施する方向で、指定管理者と十分検討を行い、より魅力ある事業実施を模索します。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	団塊の世代を活用していくことが求められていることから、必要性は高いものがあります。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域の方が講座やサークルで身につけた技能や知識を、地域の方々に伝授していく場として講座を活用するもので、有効であります。	● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	地域の埋もれた人材を如何に発掘して活用していくことが、市全体の地域力、市民力の向上に役立つもので、妥当であります。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	ボランティア講師を活用することは、各々が持つ技能や学習成果を広める役割を持ち、人材の育成や活用につながる他に、経費減少等の効率の可能性もあります。	● 高 ○ 中 ○ 低

今後に向けた課題の分析

地域の人材をいかに発掘し、活用していくか、庁内でも各課が様々な取組をしていますが、その現状はなかなか厳しく、今後も新たな施策を展開していかなければなりません。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用	指導者登録名簿作成、ボランティア育成活用
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	2.80	0.40	0.45	0.45	0.45	0.45
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	23,495	3,357	3,761	3,761	3,761	3,761
フルコスト (A+B)		0	23,495	3,357	3,761	3,761	3,761	3,761

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 引き続き地域の人材の発掘及び活用を行い、生涯学習活動の充実に努めます。	
平成22年度取組方針	
地区公民館での自主事業や団塊の世代教室などの受講者や、地域でさまざまな技能を持った人材の発掘と活用について、内容や方法などを検証しながら、引き続き研究して取り組んでいきます。	
課長コメント	地域で芸術、文化等に秀でた人を発掘し、また人材登録されている人の活用の充実に努め、生涯学習活動の推進を図ります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	②：若干遅れている
主な取組と成果		講師名簿に登録された地域の方々に講師に活用して事業を行ったことにより、生涯学習活動を推進することができた。	講師として登録された地域の方々に依頼して事業を行ったことにより、生涯学習活動の推進や人材の育成が図れました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		地域の人材をいかに発掘し、活用していくか、庁内でも各課が様々な取組をしているが、その現状はなかなか厳しく、今後も新たな施策を展開していかなければならない。	地域の人材をいかに発掘し、活用していくか、庁内でも各課が様々な取組をしていますが、その現状はなかなか厳しく、今後も新たな施策を展開していかなければなりません。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		現役時代に培った技術、技能、経験などを、団塊の世代や主婦などが、地域の方々のためにボランティアとして参画し、いかせるよう事業展開を図る。	地区公民館での自主事業や団塊の世代教室などの受講者や、地域でさまざまな技能を持った人材の発掘と活用について、内容や方法などを検証しながら、引き続き研究して取り組んでいきます。
事業区分	—	実施計画事業／行政改革事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	社会教育法第20条に規定されている公民館の目的に向けて、目的を達成するため同法第22条に掲げた事業を行っており、年々参加者も増加していることから、必要性が高いものです。
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民一人一人が生涯に渡って自主的に学習する様々な機会や場を提供し、それを継続して行うことが求められている状況に対応するものであることから、非常に有効であります。	● 高 ○ 低
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	公民館主事として職員を各公民館に配置して、市民の学習ニーズや地域性を考慮した特色ある事業を企画実施しており、講座内容についても常に課題や地域の特色を研究しながら検討していることから妥当であります。	○ 高 ● 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	有償の講師を依頼するばかりでなく、公民館の講座の受講修了者やサークルで活動している方などを講師として活用することで、人材の育成や活用につながる他に、経費減少の可能性もあります。	● 高 ○ 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 社会教育委員会議からの提言書「公民館のあり方」を踏まえ、社会情勢や市民ニーズに応じ、地域の課題等を捉えた講座を企画立案するための、現状の把握、個々の事業の分析や研究を重ねる必要があります。					

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			各種講座などの開催	各種講座などの開催	各種講座などの開催	各種講座等の開催	各種講座等の開催	各種講座等の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	12,963	11,078	11,176	11,176	11,176	11,176
事業費(A)		0	12,963	11,078	11,176	11,176	11,176	11,176
執行率(%)		—	—	—				
内訳	職員(人)	0.00	10.60	10.55	10.60	10.60	10.60	10.60
	再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費(B)		0	88,945	88,526	88,574	88,574	88,574	88,574
フルコスト(A+B)		0	101,908	99,604	99,750	99,750	99,750	99,750

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 新しい教育基本法の中でも家庭教育の重要性がうたわれていることから、家庭教育に関する研究を行い、親自身の学習意欲の向上を目指し、家庭教育学級の充実を図ります。また、地域の課題や日ごろの生活内容に関する内容の講座など、地域性を生かして地域ごとに特色のある事業を展開するとともに、団塊の世代の学習機会を引き続き提供していきます。	
平成22年度の取組方針 家庭教育学級及び団塊の世代教室の充実に向けて努めていきます。	
課長コメント	多様な学習機会の提供や自主的な学習活動の支援など、地域における学習支援を行うとともに、家庭の教育力の向上を図るための支援などの充実に向けて努めます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		従来からの共通4事業（家庭教育学級、高齢者学級、児童・生徒地域参加事業、パソコン教室）や自主事業、ブロック事業の中で、特に家庭教育学級において、市立幼稚園と連携して、園児保護者と近隣の幼児を持つ親を対象に市立幼稚園5園で「親学び学級」を実施することにより、生涯学習を推進することができた。	パソコン教室を共通4事業の枠から外し、団塊の世代教室に代えることにより、団塊の世代の地域への参加や生涯学習への意欲向上を図りました。家庭教育学級においては、市立幼稚園等との連携により親自身の学びという視点で学習機会を提供するとともに、内容を充実して実施しました。その他、自主事業やブロック事業においては、地域の課題や生活課題、参加者のふれあいなどに関する内容の講座等を実施することにより、幅広く生涯学習を推進することができました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		常に社会情勢や市民ニーズに敏感に対応するような講座を企画立案することが求められている。	社会教育委員会議からの提言書「公民館のあり方」を踏まえ、社会情勢や市民ニーズに応じ、地域の課題等を捉えた講座を企画立案するための、現状の把握、個々の事業の分析や研究を重ねる必要があります。
事業の方向性	—	拡大して継続	拡大して継続
取組方針		「家庭教育学級」及び「団塊の世代教室」の充実に努めていく。	家庭教育学級及び団塊の世代教室の充実に努めていきます。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	中高年齢者体力向上推進事業		
事業担当	社会教育部 スポーツ課		
予算科目	01-100601-030000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市内の中高年齢者	事業期間	平成20年度～
委託、協働	【委託： <input checked="" type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
中高年齢者が健康・体力づくりに取り組むことにより、いつまでも健康で豊かな生活が営まれています。		中高年齢者の健康保持増進のため、「健康・体力づくり教室」を開催し、健康づくりに必要な運動やスポーツ、食生活や日常生活での必要な知識を習得し、健康・体力づくりを推進します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	教室開催回数						単位	回
	説明・算定式	教室1回の開催期間は3か月。							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		—	1	1				
	実績		—	1					
活動指標②	指標名	実施に向けた協議回数						単位	回
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		5	—	—				
	実績		5	—					
成果指標①	指標名	受講者数						単位	人
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		—	30	30				
	実績		—	25					
成果指標②	指標名	体力測定等の数値が向上した人の割合						単位	%
	説明・算定式	体力測定等の数値が向上した人÷受講者数×100							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		—	60	70				
	実績		—	73					
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
中高年齢者を対象とした体力向上推進事業を実施するため、事業内容及び実施方法等を関係各課や関係団体と協議し、「中高年齢者体力アップ教室」を開催しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	高齢者の増加に伴い、健康でいきいきと生活してもらうため、高齢者スポーツの振興は必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	中高年齢者に生きがいのある生活を送ってもらうための手段として運動やスポーツを普及推進することは有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	高齢者社会を向かえ、中高年齢者対象の健康維持、増進を目的とした事業の需要は多くなることから妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	各種スポーツ教室を実施しているスポーツ振興財団に委託して効率よく実施します。	● 高 ○ 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

参加者が楽しんで運動やスポーツを継続してもらえるように事業内容の充実を図ります。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			調査・研究	「健康・体力づくり教室」の開催	「健康・体力づくり教室」の開催	「健康・体力づくり教室」の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	607	610	610	0	0
事業費 (A)		0	0	607	610	610	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.40	0.43	0.43	0.43	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	3,357	3,609	3,594	3,594	0	0
フルコスト (A+B)		0	3,357	4,216	4,204	4,204	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合	
<判断理由> 参加者が楽しんでスポーツや運動ができるよう内容の充実を図ります。	
平成22年度の実行方針	
事業の立ち上げという当初の目的を達成したため、今後は事務事業として、これまでの開催結果を踏まえて、より魅力的な事業となるよう内容の見直しを図ります。	
課長コメント	平成20年度の事業結果を基に内容を充実させ、募集人数を増やすなど、更に中高年齢者の健康保持増進に努めます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		平成20年度から中高年齢者を対象とした体力向上推進事業を実施するため、事業内容及び実施方法等を関係各課や関係団体と協議した。これにより、平成20年度から教室を開催することが可能となった。	中高年齢者を対象とした体力向上推進事業を実施するため、事業内容及び実施方法等を関係各課や関係団体と協議し、「中高年体力アップ教室」を開催しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		参加者が楽しんで運動やスポーツを継続してもらえるように事業内容の充実を図る。	参加者が楽しんで運動やスポーツを継続してもらえるように事業内容の充実を図ります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		平成20年度の開催結果を踏まえて、より魅力的な事業となるよう内容の見直しを図る。	事業の立ち上げという当初の目的を達成したため、今後は事務事業として、これまでの開催結果を踏まえて、より魅力的な事業となるよう内容の見直しを図ります。
事業区分	—	実施計画事業	事務事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	サッカー文化の振興によるまちづくり事業		
事業担当	社会教育部 スポーツ課		
予算科目	01-100601-040000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標 1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等	平塚市スポーツ団体補助金交付要綱		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> スポーツ振興財団 】		
目的・目標		事業の概要	
湘南ベルマーレによるサッカー指導や試合観戦により、サッカー文化の振興が図られています。		サッカー文化を振興するため、湘南ベルマーレの応援やコーチによるサッカー教室などを実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	小中学生トレセン指導者派遣回数						単位	回
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		37	37	37	37	37	37	
	実績		37	37					
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	小中学生トレセン参加者数						単位	人
	説明・算定式	—							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
	実績		2,894	2,714					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
市内小中学校・高校及び体育関係者をベルマーレホーム公式戦に招待し、また小学生トレセンに指導者を派遣して多くの市民にサッカーに親しむ機会を提供しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	スポーツのまち、サッカーのまち「ひらつか」を推進するため、湘南ベルマーレを中心としたサッカー文化の振興は必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	湘南ベルマーレと共にサッカー文化を振興することは、市民スポーツの普及に大きく貢献することができます。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	地域に根ざしたプロサッカーチームとして市民とふれあうことは、スポーツのみならず地域の活性化につながるから妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	平塚市スポーツ振興財団との協働により効率的にサッカー文化の振興を図っています。	○ 高 ● 中 ○ 低	

今後に向けた課題の分析

湘南ベルマーレが、地域に根ざしたプロサッカーチームとして、より多くの市民に親しまれ支援が得られるよう魅力的な事業を検討します。

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			小中学生トレセン指導者派遣、市民観戦招待	小中学生トレセン指導者派遣、市民観戦招待	小中学生トレセン指導者派遣、市民観戦招待	小中学生トレセン指導者派遣、市民観戦招待	小中学生トレセン指導者派遣、市民観戦招待	小中学生トレセン指導者派遣、市民観戦招待
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	11,147	10,455	9,667	9,667	9,667	9,667
事業費 (A)		0	11,147	10,455	9,667	9,667	9,667	9,667
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.15	0.15	0.04	0.04	0.04	0.04
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	1,259	1,259	335	335	335	335
フルコスト (A+B)		0	12,406	11,714	10,002	10,002	10,002	10,002

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 継続してサッカー文化の振興を図るため、平塚市スポーツ振興財団との協働により事業を進めます。	
平成22年度 of 取組方針	
サッカー文化の振興を進めるため、事業の見直しや新規事業の検討を行います。	
課長コメント	湘南ベルマーレを市の財産と考え、今後も湘南ベルマーレにおける市民との交流事業を通して、平塚市スポーツ振興財団との協働によりスポーツ振興を図ります。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		市内小中学校・高校及び体育関係者をベルマーレホーム公式戦に招待し、また小学生トレセンに指導者を派遣して多くの市民にサッカー文化の振興を図った。	市内小中学校・高校及び体育関係者をベルマーレホーム公式戦に招待し、また小学生トレセンに指導者を派遣して多くの市民にサッカーに親しむ機会を提供しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		湘南ベルマーレが、地域に根ざしたプロサッカーチームとして、より多くの市民に親しまれ支援が得られるよう魅力的な事業を検討する。	湘南ベルマーレが、地域に根ざしたプロサッカーチームとして、より多くの市民に親しまれ支援が得られるよう魅力的な事業を検討します。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	現状の規模で継続
取組方針		サッカー文化の振興を進めるため、事業の見直しや新規事業の検討を行う。	サッカー文化の振興を進めるため、事業の見直しや新規事業の検討を行います。
事業区分	—	実施計画事業	実施計画事業

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	桃浜町庭球場改修事業		
事業担当	社会教育部 スポーツ課		
予算科目	01-100602-010000	事業種類	● ハード ○ ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	平成19年度～平成20年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
施設環境の整備を行うことにより、市民が安心してテニスを楽しんでいます。		安心・安全にテニスを楽しめる環境を整備するため、老朽化している人工芝を全面張替えします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	改修工事進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：検討5% H20：改修工事95%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		5	100	—				
	実績		5	100					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
関係各課及び関係団体と協議して工事時期や期間などを調整し、予定どおり着工して完了しました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	市民スポーツの普及振興のため、老朽化した施設の整備は必要です。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	市民が安心して安全にテニスを楽しむことができるようになり有効です。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	人工芝に整備して11年が経過し、老朽化している施設の改修であり妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	入札により適正に執行されました。	● 高 ○ 中 ○ 低	
今後に向けた課題の分析 管理棟及び付帯設備等も老朽化しているため、計画的な修繕が必要です。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			再整備の検討、調整	工事	—			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	42,000	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	15,225	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	57,225	0	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.65	0.65	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	5,798	5,798	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	5,798	63,023	0	0	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="checkbox"/> 現状の規模で継続 <input type="checkbox"/> 拡大して継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 他事業と統合	
<判断理由> 平成20年度で改修工事が終了しました。	
平成22年度取組方針	
課長コメント	平成20年度で改修工事が完了し、今後とも適正な維持管理ができるよう指定管理者を指導していきます。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		平成20年度の改修工事に向け、関係各課及び関係団体と協議して工事時期や期間などを調整し、予定どおり平成20年度に着工できるよう準備した。	関係各課及び関係団体と協議して工事時期や期間などを調整し、予定どおり着工して完了しました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		管理棟及び付帯設備等も老朽化しているため、計画的な修繕が必要である。	管理棟及び付帯設備等も老朽化しているため、計画的な修繕が必要です。
事業の方向性	—	終了	終了
取組方針			
事業区分	—	—	—

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。

1. 事業の位置付け

事務事業名	ニュースポーツ等推進事業		
事業担当	社会教育部 スポーツ課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	01	1 生涯にわたる学習・スポーツ・レクリエーションを楽しむ環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
年代・性別を問わず、誰もが気軽にプレーすることができるニュースポーツを楽しんでいます。		誰もが気軽に楽しく健康的にプレーできるパークゴルフを推進するため、パークゴルフ場の設置を検討します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
成果指標①	指標名	パークゴルフ場設置方針策定進捗率						単位	%
	説明・算定式	H19：検討10%、H20：検討20%、H21：設置方針策定70%							
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		10	30	100				
	実績		10	100					
成果指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標								
	実績								
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成20年度の主な取組と成果									
パークゴルフ場の設置について、関係各課及び関係機関と設置場所等の検討を行い、平成21年度に神奈川県企業庁平塚配水池上部にパークゴルフ場を整備することとしました。									
平成20年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	高齢社会を向かえ、誰でも気軽に楽しくできるスポーツが求められるようになったことに伴い、パークゴルフ場を整備して市民スポーツの普及を図ることは必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	年代、性別を問わず多くの市民が健康的にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるようになるため有効です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民が健康的にスポーツを楽しむ環境を整備することは市民スポーツの普及・振興のため妥当です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	人員配置や委託など、効率的な管理運営を検討します。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
今後に向けた課題の分析				
関係各課及び関係機関と調整を行い、平成21、22年度の2カ年で神奈川県企業庁平塚配水池上部にパークゴルフ場を整備し、効率的な管理運営を図ります。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 予算額	平成22年度 試算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額
事業内容			建設の検討	建設の検討	設置方針の策定、パークゴルフ場整備			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	149,848	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	149,848	0	0	0
執行率 (%)		—	—	—				
内訳	職員 (人)	0.00	0.30	0.30	0.95	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	2,518	2,518	7,939	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	2,518	2,518	157,787	0	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成22年度の事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input checked="" type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> パークゴルフ場設置方針を策定し、平成21、22年度の2カ年で神奈川県企業庁平塚配水池上部にパークゴルフ場を整備することとなりました。	
平成22年度 of 取組方針	
課長コメント	パークゴルフ場の整備に向け、工事費用、管理運営体制等を検討して設置方針を策定し、平成22年10月の開設を目指します。

5. 事業展開の経緯

	平成18年度事業分	平成19年度事業分	平成20年度事業分
進捗状況	—	①：予定どおり	①：予定どおり
主な取組と成果		パークゴルフ場の設置について、関係各課及び関係機関と設置場所等の検討を行い、設置方針策定に向けて準備を進めた。	パークゴルフ場の設置について、関係各課及び関係機関と設置場所等の検討を行い、平成21年度に神奈川県企業庁平塚配水池上部にパークゴルフ場を整備することとしました。
検証結果	—	A：成果があがった	A：成果があがった
	平成20年度への展開	平成21年度への展開	平成22年度への展開
今後に向けた課題		設置場所、建設費用の検討や設置後の維持管理方法などを検討する。	関係各課及び関係機関と調整を行い、平成21、22年度の2ヵ年で神奈川県企業庁平塚配水池上部にパークゴルフ場を整備し、効率的な管理運営を図ります。
事業の方向性	—	現状の規模で継続	終了
取組方針		パークゴルフ場の設置について、関係各課及び関係機関と協議、検討することにより、設置方針を策定する。	
事業区分	—	実施計画事業	—

※実施計画事業評価は、昨年度の事業を評価し、来年度の予算編成の参考としています。